

エキスパート・ティーチャーによる特別授業を行いました

見出しの特別授業を、以下のとおり行いました。

演題 「上達を実感できるワクワク英語学習法」

講師 松本 茂 氏

〈プロフィール〉

東京国際大学言語コミュニケーション学部教授・国際コミュニケーション教育研究所長
立教大学名誉教授

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟副理事長

「NHKラジオ基礎英語」(『小学生の基礎英語』『中学生の基礎英語レベル1』『中学生の基礎英語レベル2』『中学生の基礎英語 in English』) 全体監修者

日時 令和3年7月16日(金)

13:05～13:08 講師紹介等
13:08～13:50 講義
13:50～14:25 質疑応答
14:25～14:40 感想記入等

対象 高志中学校生徒(全学年)

※各教室でオンライン参加(ZOOM利用)



内容

(1) 松本先生の中高生時代

英語の学習に興味がわかなかったが、高3の夏休みにディベートに出会い、「これならやってみたい!」と思った。

(2) 自律した学習者になろう

上達の3要素は、①(少しの)やる気、②(多くの)インプットと(少しの)アウトプット、(総合的な)学習方法。ゴールを明確化し、優しい英語をたくさんインプットし、クラスメートとのやり取りを大事にアウトプットし、総合的・集中的に学ぼう。まずは3日、そして3週間→3か月と頑張ろう。3週間やれば、手ごたえを感じられる、3か月やれば周りの人が認めてくれるくらいの効果が出る。

P (Practice) I (Interaction) C (Communication) のサイクルを回すことが肝心。

(3) FAQ

「発音は大切か?」「文法は大切か?」「単語を覚えるにはどうしたらよいか?」「リスニングの力はどのようにつけるとよいか?」などの問いに対する考え方を説明。

(4) 質疑応答

生徒から、「映画を字幕付きで見るのはOKか?」「短い時間でさっとできる学習法は?」「外国人と話すときに意識すると良いことは?」「対話的に学習することと、個人学習することの関係は?」「ゴールの明確化と言われるが、どのようなゴールを設定するとよいか?」「AIが発達し翻訳機が進化の中で、英語学習をする必要があるのはなぜ?」「ディベートに参加したいが、どのような学習をするとよいか?」などの質問が出され、一つ一つに丁寧に答えていただきました。

